

# オイルクーラー装備車のフィルター交換

**BMW社 サービス・インフォメーション 1979年5月1101078(1060R)**

USAとカナダのみ (原文は英語)

## R100RS用オイルクーラー

長時間の過酷な条件下でもエンジンオイルを適温で維持させるためオイルクーラーを装備した。

オイルクーラーはオイルフィルター・カン内にあるサーモスタットによって管理されている。

このサーモスタットは油温およそ80 で開き始め、およそ110 で最大となる。

潤滑回路系構成部品(ホース、オイルクーラー、オイル交換:フィルター交換を伴わない温間時の作業時も含む)の脱着時には以下の手順を行う。

エンジンオイル充填の前にフィルターカバーより六角ボルトM6×10を外し、テンポラリー・ボルト1142 1335 394(エア抜き用ロングボルトのこと)をシールリング(07119963034)とともにねじ込む。オイル全量は2.5リッターである。(オイルクーラーとホース部分を含む)

### オイルクーラーのエア抜き

エンジンオイル充填後、左右のスパークプラグキャップを抜き、アダプター(BERU EP 1 サプレッサー・エレメント)を装着する。さもないとキャップの防水ラバーが溶け落ちます。イグニッション・オンにしてセルフスターターでクランキングさせオイルをオイルクーラーに充填させる。油圧ランプが消灯すればエア抜き完了です。

## **重要事項**

この作業の後、テンポラリー・ボルトは必ず外し、新しいシールリングと共に元のボルトを取り付ける。

さもないとサーモスタットは作動しない。この状態では重大なエンジン損傷に導く恐れがある。

(正常なエンジン温度に達しないことや冷間始動時にクーラー内が高圧力になる)

走行1万5千kmでフィルターとオイルを交換する。その際クーラー内のオイルも必ず交換する。

エア抜きはフィルターの交換時にテンポラリー・ボルトを取り付けることで行われる。

(バルブを開くことでオイルは排出される) オイル排出後、新しいフィルターを差し入れ、テンポラリー・ボルトと共に組付ける。

注意 後付けでオイルクーラーを取り付けた場合、フィルターはロングタイプ(11421335385)となる。オイル量やエア抜き作業は上記と同じである。

R100RS用後付けオイルクーラーキットは部品設定があります。(11421335396)

通常の補修部品を注文する要領で入手できます。

後付けキットにはエンジンセンター部オイルクーラー装備前提の専用フェアリングは含まれていません。部品発注の際には御注意ください。さもないとオイルクーラーが装着できません。

オイルクーラー装備用専用センターフェアリングは下記の部品番号で入手できます。

46631237662 シルバー・メタリック

46631237964 ゴールド・メタリック

46631237965 プライム・フィニッシュ(塗装なしの下処理状態)

このオイルクーラーは/5、/6、/7(R60/7-R100S)にも取り付け可能です。

詳細については近日中にサービス・インフォメーションでお知らせします。